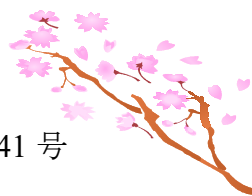




校長室通信

南小国町立南小国中学校

令和2年3月9日(月) No41号
文責 狭間卓史



「新型コロナウイルス感染症への対応について」

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした臨時休業への対応につきましては、各ご家庭に大変お世話になっております。本校でも先週から家庭訪問を実施しているところですが、本校職員の訪問は玄関先での対応で、生徒のみを対象として取り組ませていただいているところです。しかしながら保護者の皆様におかれましても学習面のこと等、何かとご不安もおありだと思っています。そのような場合は随時学校までご連絡ください。

「思いを込める」

2月27日夕刻の突然の休校要請のニュースには驚きましたが、翌28日には本県教育委員会の方針も示され、南小国町教育委員会の指導のもと町内小中学校が15日迄の臨時休業となったことは皆さんご存じの通りです。

実のところ本校では27日の午後に、卒業式に向けての最後の打ち合わせを済ませていました。県が示した方針に沿って、式場に入ることが出来るのは、卒業生とその保護者さん、職員のみという条件で、どのような卒業式が出来るのか・・・本校では遠隔授業の経験を生かして、1・2年生は各教室に待機させ、体育館と各教室を映像・音声でつなぐ方式を考えました。そして数名の職員が実際に可能かどうかテストを重ね、これでいくという判断をした直後のことでした・・・しかしその構想は一瞬で崩れました。

翌28日は、慌ただしい一日でしたが、放課後の時間に一・二年生と職員とで、一気に式場づくりに取り組んでくれました。私自身はその時間帯、電話対応に追われ、遅れて体育館に行ったのですが、その時には準備はほぼ終わっていました。驚くほどあっという間の作業でした。(その時の体育館の写真も撮っており、この通信に掲載しようか最後まで迷いましたが、あえて載せません。) この一週間で最後の仕上げを行います。職員も在校生の気持ちをどのように伝えれば良いのかさらに工夫を重ねてくれています。当日は休業期間中のため、在校生は会場に入れないどころか登校さえ出来ません。それでも本校体育館には卒業生(三年生)に対する在校生と職員の精一杯の思いが込められています。後方で見守ってくださる保護者の皆さん方の思いと併せて、一生の記憶に残る卒業式を創り上げたいと思っています。

三年生保護者の皆様方には別途、卒業式に向けた文書(変更のお願い)を届けさせていただきますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



【3年生教室を見守る桜のつぼみ】

「願い」

この通信が全ご家庭に届く頃には既に終わっているかもしれませんが、公立高校後期入試に本校生徒も挑戦します。三年生全員がこの四月からの進路先は確保済みですが、あと数名が自分が進みたい進路を目指しての受検です。直前の休校で戸惑いも大きかったはずですが、頑張った本人はもちろんご家族の皆さんの思いが通じることを願うばかりです。



「おめでとうございます」

嬉しいニュースです。南島原市が開催している「セミナリヨ現代版画展」に出品した本校生徒の作品が多数入選しました。おめでとうございます。

南島原市議会議長賞	畑本 悠那さん	
南島原市文化協会賞	権藤 雄大さん	
特 選	本田 拓海さん	
入 選	稲森 香蓮さん	宇都宮 翼さん
	川津 寛太さん	武田 孝介さん
	武田 奈穂さん	橋本 恭介さん
	樋口 友夢さん	室原 逸希さん



【笑顔一杯】